



ゆたかっ子

令和2年度
 学校だより10月号 ⑮
 豊見城市立ゆたか小学校
 豊見城市字豊見城 601 番地 1
 TEL850-663 FAX850-3940
 校長 宮平 やすみ

子どもはすごい！変化に対応する力で1年を折り返しました！

新型コロナの感染拡大により、今年は2回の臨時休業がありました。これまでにあったようなはっきりとした節目がなく、子ども達も今一つ終業式の実感がわいてこないようです。今年は、新しい生活様式ということで、学校生活にもこれまでにない変化がありましたが、子ども達は、大人以上に頼もしく柔軟な対応力で学校生活に慣れ、日ごとに元気な姿、明るい笑顔を取り戻してくれました。まさに「竹のようなしなやかさとたくましさ」を見たような気がします。子ども達を支えてくださった保護者のみなさまのご理解ご協力に感謝を申し上げます。

さて、今日、子ども達に手渡される「よい子のあゆみ」には、子どものがんばりや成長が具体的に記されています。ぜひ、子どもと一緒に「よい子のあゆみ」をご覧ください、わが子のよさをうんとほめてあげてください。

「よい子のあゆみ」の一番の役目は、親子でふり返り、これからのやる気をぐんと高めてもらうことです。がんばったことは大げさなくらいほめてあげましょう。親の力は先生の10倍、100倍です。できていないことは、子どものせいにしないで、学校と家庭で対応策を考え励ましていけばいいと思います。でも、安易なごほうび作戦は、本当のやる気にはつながることが多く、ごほうびがないとやる気がでない子になってしまうので気をつけましょう。「～ができたら、いっしょにピクニックに行こう、いっしょにおやつをつくろう、いっしょにオセロで遊ぼう」と親子の時間をごほうびにするのもよいでしょう。「今週の夕飯メニューを好きなものにしてあげよう」「大好きなゲーム時間を20分サービスしよう」「家族みんなからハグしてもらおう」・・・と家族からもらえる喜びをごほうびにするのもいいかもしれません。子どもの興味関心や性格によって効果もいろいろ違うと思いますが、ものやお金ではなく、精神的な満足感を得ることで、子どもの中からわき出てくる本当のやる気を引き出すことができれば、「よいこのあゆみ」の効果を最大限に発揮したことになるとと思います。

終業式は校長室から教室へオンラインで！

1学期をふりかえって



2年生
 東里さちさん、比屋根ゆいかさん
 尾野さゆかさん、運天りあさん



4年生
 松井美咲希さん、宮城ひなさん
 大城絢平さん、金城りりあさん

今年初めての全児童による校歌



「よい子のあゆみ」の様式について

昨年度から、島尻地区全域で校務支援システムを活用して成績処理を行っています。「よい子のあゆみ」の様式も豊見城市内の小学校はほぼ共通しています。

そこで、学校予算を効果的に利用する上でも、1学期の「よい子のあゆみ」は普通の用紙に印刷したものをお渡しします。

2学期に学校へ提出する必要はありません。

2学期（学年末）には、正式な用紙（上質紙）に印刷したものをお渡ししますので、ご理解いただきますようお願いいたします。